

第 67 回 応用森林学会大会

学 会 会 長：二宮生夫
大会実行委員長：山田容三
大会実行委員：上谷浩一， 嶋村鉄也， 杉元宏行， 都築勇人， 鍋嶋絵里

会 場： 愛媛大学農学部
〒790-8566 愛媛県松山市樽味 3-5-7

主 催： 応用森林学会

共 催： 一般社団法人 日本森林学会
一般社団法人 日本森林技術協会

会 期： 平成 28 年 10 月 22 日（土）総会，公開講演会，懇親会
10 月 23 日（日）研究発表

参 加 費： 当日大会参加費 2,000 円（学生は無料）
当日懇親会費 4,000 円（学生は 1,000 円）

大会事務局： 〒790-8566 松山市樽味 3-5-7
愛媛大学大学院農学研究科森林資源学コース内
第 67 回応用森林学会大会事務局
T E L：089-946-9665
F A X：089-946-9665
E-mail：afs67@applforsci.jp

日程表

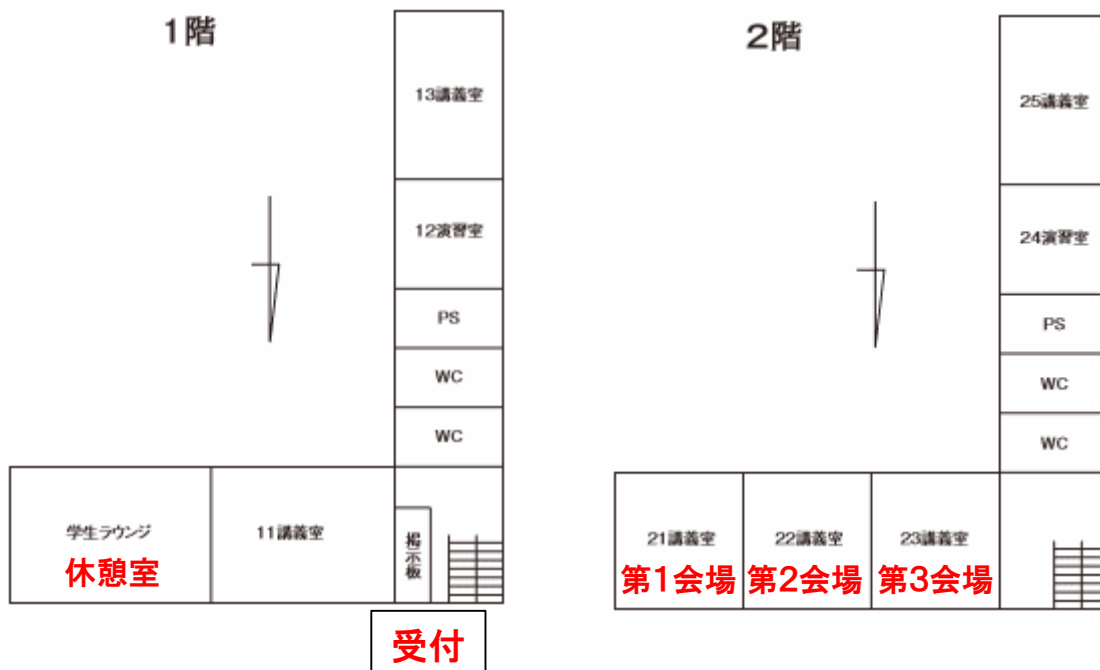
	大講義室	第1会場 (21 講義室)	第2会場 (22 講義室)	第3会場 (23 講義室)
10月22日 (土) 受付 12:30-	13:30-14:30 総会 14:30-16:30 公開講演会			
17:30-19:00 懇親会 (生協食堂)				
10月23日 (日) 午前 受付 9:00-		研究発表 10:00-11:45 経 営 (A01~A03) 林 政 (A04~A05) 森林教育 (A06~A07)	研究発表 10:00-11:45 造 林 (B01~B04) 保 護 (B05~B07)	研究発表 10:00-11:45 立 地 (C01~C04) 緑 化 (C05) 防 災 (C06~C07)
10月23日 (日) 午後			研究発表 13:00-14:45 生 態 (B08~B10) 育 種 (B11~B14)	研究発表 13:00-15:00 林業技術 (C08~C12) 利 用 (C13~C15)

会場案内（愛媛大学農学部）

樽味キャンパスマップ



発表会場（講義棟）フロアマップ



研究発表に関する注意

研究発表の時間は、15分（発表12分、質疑3分）です。発表は液晶プロジェクターでお願いします。OHP、スライドは使用できません。なお、以下について留意して下さい。

- 会場にはOSが「Windows 7」の「Microsoft PowerPoint 2010」がインストールされたPCを準備します。
- ファイルは、USBメモリーにより持参して下さい。
- PCへのデータ転送、操作確認等は、午前の部に発表の方は午前の部発表開始10分前までに、午後の部に発表の方は昼食休憩中に、発表者各自が行って下さい。
- PCの操作は、発表者各自でお願いします。
- 発表者は次の講演の座長を行ってください。

昼食に関するお知らせ

キャンパス周辺にはコンビニ（徒歩7分）、御飯屋（徒歩5分以内に和食屋、洋食屋、うどん屋、カレー屋、回転ずし店、パン屋など）があります。

アクセス

【JR松山駅および松山市駅から】

伊予鉄バス8番線（東野経由）道後温泉駅前行き「愛媛大学農学部前」下車

車での来学は禁止しています。公共交通機関のご利用をお願いします。

第1会場（農学部2号館2階21講義室）

時刻	番号	部門	演題と発表者氏名
10:00～10:15	A01	<u>経営</u>	初期育林におけるシカ対策・被害が林業収支に与える影響評価 北原文章・志賀 薫・酒井 敦
10:15～10:30	A02	<u>経営</u>	京都府京丹波町全域の地位指数分布図の作成—ALS (Airborne Laser Scan)データの活用— 塩田廣美・田中和博・長島啓子・美濃羽靖・吉田 聡・岡田広行・鈴木秀明
10:30～10:45	A03	<u>経営</u>	間断経営を想定して展開された最適輪伐期論の不適切性について 田中和博
10:45～11:00	A04	<u>林政</u>	近畿地方における薪の流通実態—滋賀県を中心として— 垂水亜紀・山本伸幸
11:00～11:15	A05	<u>林政</u>	森林所有者数に関する一考察—公表値の比較— 松下幸司・吉田嘉雄・仙田徹志
11:15～11:30	A06	<u>森林教育</u>	ドイツの林業技術者に必要な技能について 林業技術者育成テキストより 寺下太郎
11:30～11:45	A07	<u>森林教育</u>	ドイツの狩猟免許の内容について 狩猟者試験のテキストより 寺下太郎

第2会場 (農学部2号館2階22講義室)

時刻	番号	部門	演題と発表者氏名
10:00～10:15	B01	<u>造林</u>	ラオスにおける異なる光環境下に植栽したラタン2種の初期成長と生存率 米田令二・木村健一郎・Singkone Xayalath
10:15～10:30	B02	<u>造林</u>	ウバメガシの萌芽更新におよぼす伐根径と伐採高の影響 山下由美子
10:30～10:45	B03	<u>造林</u>	幹の太さが同じなら陽樹冠の占有面積も同じか？－島根大学三瓶演習林壮齢スギ人工林におけるDBHと陽樹冠の占有面積との関係－ 高橋絵里奈・杉谷静流・米康 充
10:45～11:00	B04	<u>造林</u>	モウソウチクの皆伐と植栽による広葉樹林化について(I) －愛媛県松山市の事例調査その1－ 豊田信行
11:00～11:15	B05	<u>保護</u>	カシナガトラップによるナラ枯れに強い林分への誘導 三枝道生
11:15～11:30	B06	<u>保護</u>	コウヤマキ・ヒノキ林における自然落下種子の菌害率 市原 優・大原偉樹
11:30～11:45	B07	<u>保護</u>	材変色被害をもたらすキバチ類および共生菌の繁殖生態 松本剛史・佐藤重穂
昼 休 み			
13:00～13:15	B08	<u>生態</u>	ブナの葉における形態的可塑性の地域間差 堀川慎一郎・明貝直晃・新良貴歩美・東 若菜・石井弘明
13:15～13:30	B09	<u>生態</u>	愛媛大学農学部附属米野之演習林におけるカメラトラップ法を用いた哺乳類と鳥類の調査 梶野佑太・大倉祐水・嶋村鉄也
13:30～13:45	B10	<u>生態</u>	愛媛大学附属米野演習林内にマツノザイセンチュウが移入している可能性 中谷崇人・上谷浩一
13:45～14:00	B11	<u>育種</u>	関西育種基本区 of 山陰北陸地域で開発された抵抗性クロマツの着花特性 岩泉正和
14:00～14:15	B12	<u>育種</u>	岡山県産少花粉スギに対する発根促進再処理の効果 石井 哲
14:15～14:30	B13	<u>育種</u>	官民連携によるスギ、ヒノキ精英樹の成長評価の取り組み 三浦真弘
14:30～14:45	B14	<u>育種</u>	関西育種基本区における優良な無花粉スギ品種開発の取り組み 河合慶恵・岩泉正和・三浦真弘・久保田正裕

第3会場（農学部2号館2階23講義室）

時刻	番号	部門	演題と発表者氏名
10:00～10:15	C01	<u>立地</u>	ヒノキ人工林における間伐後の樹冠葉量と窒素利用の変化 稲垣善之・野口享太郎・倉本恵生・中西麻美・深田英久
10:15～10:30	C02	<u>立地</u>	四万十川源流部の森林流域における降水・溪流水質の特性と物質収支 —2010～2015年の観測データから— 酒井寿夫・稲垣善之・森下智陽・野口享太郎
10:30～10:45	C03	<u>立地</u>	島根大学三瓶演習林内小流域における窒素収支長期モニタリング 葛西絵里香・山下多間・尾崎嘉信・橋本 哲・藤巻玲路
10:45～11:00	C04	<u>立地</u>	林冠閉鎖後のヒノキ人工林における成長量と窒素利用 中西麻美・稲垣善之・深田英久・渡辺直史
11:00～11:15	C05	<u>緑化</u>	シカ不嗜好性植物を用いた緑化手法の検討 三井香代子
11:15～11:30	C06	<u>防災</u>	林道法面の損壊調査から明らかになった危険地形の特徴について 矢部 浩・多田泰之
11:30～11:45	C07	<u>防災</u>	急斜面ヒノキ人工林における表面侵食の抑制—5割伐採地における傾斜 の違いと土留の有無が土砂移動に与える影響— 土井裕介・山本優一・尾形信行
昼 休 み			
13:00～13:15	C08	<u>林業技術</u>	列状間伐後における下層植生に関する研究—木本類等の現存量について— 西山嘉寛
13:15～13:30	C09	<u>林業技術</u>	「岡山甘栗」の造成に関する研究—水田跡地への植栽方法の検討— 西山嘉寛
13:30～13:45	C10	<u>林業技術</u>	「岡山甘栗」の収穫方法の検討—3種類の収穫方法の比較— 西山嘉寛
13:45～14:00	C11	<u>林業技術</u>	「岡山甘栗」の加工について—焼栗試作結果からの一考察— 西山嘉寛
14:00～14:15	C12	<u>林業技術</u>	クロマツにおける居接ぎおよび揚げ接ぎによる増殖効率の比較 片桐智之
14:15～14:30	C13	<u>利用</u>	事業主の安全意識と職場環境に関する研究 山田容三・渡邊奈穂美
14:30～14:45	C14	<u>利用</u>	既設路線データと地形特性分類による伐出システム区分 後藤純一

14:45～15:00 C15

利用

架線系における木寄せ集材工程の作業時間分析の一手法
—時間観測に GPS ロガーを使用した事例から—
與儀兼三